

編集後記

初等教育学科・子ども教育学科紀要の第3冊目をお届けします。紀要名は、初等教育学科・子ども教育学科となっていますが、内容的には、教育研究特別号といった意味合いをもっています。

本号には、6編の論文が収録されています。小川先生と清水先生の論文は、話題となっている小学校における新教育課程について、それぞれのご専門の立場（理科教育と図画工作・美術教育）から追究されています。また、横山先生と石井先生は、幼稚園教育のあり方について、今日大きな課題となっている遊びを通しての協同性の育成と幼稚園における特別支援教育という立場から追究されています。さらに、鈴木先生と西尾先生は、今日改革が進む教師教育について、教員養成という立場からと現職教員の研修という立場から追究されています。いずれも今日的課題を取り上げておられ、山積する教育問題に一石を投じられています。

平成19年度の昭和女子大学における教育関係の出来事では、まず、大学院生活機構研究科心理学専攻に人間教育学講座が設置されました。そして、平成20年4月に心理学専攻から分離して人間教育学専攻が開設されました。小学校と幼稚園の専修免許を取得することもできます。また、四年制大学の初等教育学科では、初めての卒業生を送り出すことができました。全員編入生であるため12名でしたが、1名が大学院進学、11名が小学校教員となって巣立ってくれました。短大部の子ども教育学科では、半数以上が保育学専攻科に進学したり学部編入学したりしています。就職希望者は全員小学校、幼稚園に就職してくれました。保育学専攻科の学生も全員小学校、幼稚園、保育所に就職できました。公立の幼稚園に2名合格してくれたのも嬉しいことでした。

平成20年度の入学生は、初等教育学科が113名です。子ども教育学科と統合されたために倍になりました。学生への教育も、四年間を見越した、かつ大学院の進学も視野に入れたものにしていかなければなりません。それにあわせて研究の分野もそれぞれが深めていかなければなりません。本紀要がその推進役を担えますことを期待します。

最後になりましたが、本紀要に投稿いただいた先生方をはじめ、編集等においてお世話になりました皆様に心より感謝申し上げます。
(押谷由夫)

編集委員 押谷由夫 平野晶子
今井美樹 中村徳子

☆掲載論文の無断転載を禁じます。	学苑 八百十二号	
	定価 八四〇円（本体八〇〇円）	購読料 一カ年分 一〇〇八〇円
〒154-8533 東京都世田谷区太子堂一ノ七	（本体 九六〇〇円）	
	平成二十年五月二十日 印刷	平成二十年六月一日 発行
発行所 昭和女子大学 近代文化研究所	編集発行人 竹田喜美子	
	印刷所 三秀舎	
電話 03(三四二)五三〇〇		